

2005年度

供給計画の概要

2005年3月

東京ガス株式会社

目 次

はじめに	1
. 供給計画の概要	1
1. 普及計画	1
2. ガス販売量計画	1
3. 生産・購入量、原料使用計画	3
4. 主要設備計画	3
5. 設備投資計画の概要	4
供給エリア概要図	5
. 主要計数計画	7

はじめに

エネルギー市場は昨年施行された改正ガス事業法等により規制緩和が一段と進展しており、新規参入の拡大や価格競争の激化など当社を取り巻く環境はますます厳しくなっております。こうした本格的なエネルギー大競争時代を勝ち抜くために、当社は2003年度から中期経営計画「フロンティア2007」に取り組んでおり、現在「変革と創造」に向けた諸施策を着実に展開しております。

中期経営計画の実施3年目にあたる2005年度の供給計画は、「フロンティア2007」の考え方や現在展開している諸施策を継続することを前提に、直近の状況変化を新たに織り込んで策定しており、本供給計画を確実に実行することで、「フロンティア2007」の完遂に向けて取り組んでまいります。

供給計画の概要

1. 普及計画

05年度の新設件数については、首都圏における大規模集合住宅の竣工が落ち着いてきていることから、04年度見通しを下回る27.9万件を計画しています。06年度以降についても、首都圏における新築物件の建設ラッシュが一段落したこと、住宅ローン減税制度の控除額が段階的に引き下げられることなどから住宅着工件数のペースダウンが続くものと予測され、新設件数は減少していくと考えられます。なお、お客さま件数については、5ヵ年平均で1.5%伸びる計画としています。

(千件)

	04年度見通し	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	年平均伸び率
新設件数	287.5	279.5	275.0	265.0	260.0	257.0	2.2%
お客さま件数	9,632.7	9,804.4	9,966.2	10,114.2	10,248.0	10,376.9	1.5%

お客さま件数 = ガスメーター取付数

2. ガス販売量計画

5ヵ年平均で2.4%の伸び率で計画し、09年度には約133億m³を見込んでおります。

【全体販売量】

(単位: 百万m³, 46.04655MJ/m³)

	04年度見通し	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	年平均伸び率
販売量合計	11,814	12,009	12,457	12,733	13,090	13,276	2.4%

04年度は標準化後(05年度以降の計画策定上の気温へ補正した値)見通し。以下同様。

(1) 家庭用

新設件数の伸びに応じて調定件数および総販売量は伸びていきます。一方、一件あたり販売量は、一世帯あたりの家族人員数の減少、気密・断熱性の高い集合物件比率の上昇、機器効率の向上、中食化の影響等により、床暖房システムの普及等に努めながらも減少傾向が続くと予測されます。

【家庭用需要と一件あたり販売量】

(単位: 百万m³・m³/件・年, 46.04655MJ/m³)

	04年度見通し	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	年平均伸び率
家庭用販売量	3,205	3,238	3,270	3,298	3,326	3,347	0.9%
一件あたり販売量	397	394	392	391	389	387	0.5%

【床暖房普及件数累計】

(千戸)

	04年度見通し	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	年平均伸び率
件数累計	676	760	846	932	1,020	1,108	10.4%
普及率	7.5%	8.3%	9.1%	9.8%	10.6%	11.4%	-

普及率は、床暖房件数累計÷当社供給区域内年度末家庭用お客さま件数で算定

(2) 工業用

用途別で最大量を占める工業用については、コージェネレーションなどの大口需要を中心に需要が拡大していきます。

(単位：百万m³，46.04655MJ/m³)

	04年度見通し	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	年平均伸び率
工業用販売量	4,523	4,533	4,833	4,960	5,191	5,261	3.1%
(内大口販売量)	4,242	4,286	4,572	4,686	4,905	4,961	3.2%

(3) 商業用他

GHP・吸収式冷温水機などの普及により、空調需要が拡大していきます。

(単位：百万m³，46.04655MJ/m³)

	04年度見通し	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	年平均伸び率
商業用他販売量	2,766	2,838	2,900	2,956	3,016	3,078	2.2%
(内大口販売量)	983	1,076	1,099	1,126	1,152	1,179	3.7%

(4) 卸供給

卸供給は卸先事業者の需要増や新規卸先事業者増により増加してまいります。

(単位：百万m³，46.04655MJ/m³)

	04年度見通し	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	年平均伸び率
卸供給販売量	1,320	1,400	1,454	1,519	1,557	1,590	3.8%

(5) 発電用途

【発電用途(コージェネレーション、発電専用)販売量】(上記(2)、(3)の内数)

コージェネレーションの普及や新規発電事業者への供給等により販売量は増加し、ガス販売量全体に占める割合は3割弱で推移していきます。

(単位：百万m³，46.04655MJ/m³)

	04年度見通し	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	年平均伸び率
民生用コージェネ	363	371	381	392	402	413	2.6%
産業用コージェネ	1,161	1,240	1,311	1,382	1,452	1,521	5.6%
コージェネレーション計	1,524	1,611	1,692	1,774	1,854	1,934	4.9%
事業用	1,664	1,489	1,646	1,609	1,700	1,614	0.6%
自家用	200	172	135	135	135	135	7.6%
発電専用計	1,864	1,661	1,781	1,744	1,835	1,749	1.3%
合計	3,388	3,272	3,473	3,518	3,689	3,683	1.7%

【販売量全体に占める発電用途の割合】

	04年度見通し	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
発電用途割合(%)	28.7	27.2	27.9	27.6	28.2	27.7

3. 生産・購入量、原料使用計画

長期契約をベースに安定した原料調達と調達コストの一層の低減に努めるとともに、需要動向に応じて短期取引等も利用して調達の柔軟性を高めてまいります。

また、2006年2月下旬を目途に、標準熱量を46.04655 MJ/m³から45 MJ/m³へ引下げ、割高なLPG原料の使用割合を減らすことで原料費を低減してまいります。得られた原料費低減効果については、ガス料金に反映してお客様へ還元し、価格競争力の維持・強化に努めてまいります。

【ガス生産・購入量】

(単位：百万m³，46.04655MJ/m³)

		04年度見通し	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
天然ガス系	LNG	10,964	11,230	11,929	12,183	12,482	12,667
	国産天然ガス	245	258	266	268	269	271
石油系	LPG	479	482	226	249	308	309
	オフガス	142	105	102	102	102	102
合計		11,830	12,075	12,523	12,802	13,161	13,349

*生産・購入量には、他ガス事業者からの受入れは含まない。

【原燃料使用量】

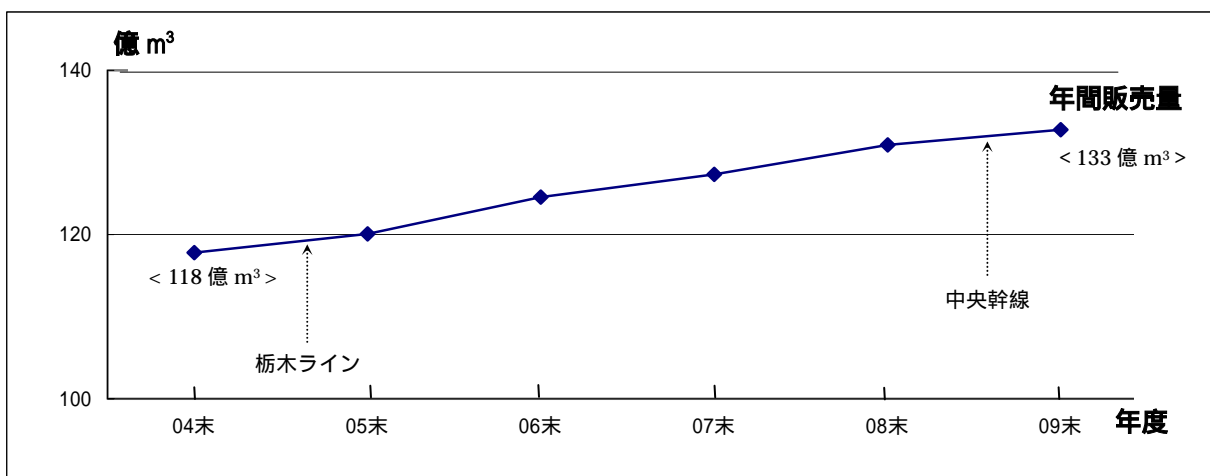
(単位：千t)

	04年度見通し	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
LNG	8,907	9,128	9,747	10,043	10,334	10,506
LPG	432	423	199	220	271	272

4. 主要設備計画

需要見通しに的確に対応した設備増強と製造・供給インフラの整備を実施し、安定供給に努めるとともに、効率化努力を行なってまいります。本5カ年内の主な取り組みとしては、2005年度の栃木ライン完成により宇都宮支社管内への安定供給を図るとともに、北関東地区の需要増にも対応してまいります。また、2009年度には、当社供給区域内全域の安定供給と需要増対応を目的とした中央幹線(江戸川区～草加市)の完成を目指して建設を推進してまいります。

【需要見通しと設備形成計画】



【主要製造設備計画】

使用開始予定年月	製造設備	設置場所
2005年12月	LPG気化器	根岸工場
2006年4月	LNGタンク(800kl)、LNG気化器	総和サテライト
2007年10月	LNG気化器	扇島工場
2008年11月	LNG気化器	袖ヶ浦工場

【主要導管計画】

使用開始予定年月	路線名	区 間	内径 (mm)	圧力 (MPa)	総延長 (km)
2005年11月	栃木ライン	佐野～真岡	400	7.00	53.2
2005年11月	① 栃木ライン(中圧部分)	真岡～宇都宮	400・500	0.99	16.2
2006年4月	② 総和中圧導管(その1)	猿島郡総和町北利根～総和町釈迦	300	0.99	2.2
2006年4月	② 総和中圧導管(その2)	猿島郡総和町北利根～総和町北利根	300	0.99	0.02
2009年10月	中央幹線	江戸川区～草加市	600	7.00	23.2

*路線名左数字は、「供給エリア概要図」(5ページ)の路線番号

【年度末導管総延長】

(単位：km)

04年度見通し	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
50,841	51,558	52,175	52,760	53,329	53,915

5. 設備投資計画の概要

今供給計画策定期間の2005年度から2009年度において、

製造設備では、扇島工場・袖ヶ浦工場等のLNG関連設備の拡充を行うとともに、既存設備の改修等を行なっていくことで、安定製造体制に万全を期す

供給設備では、新規需要開発のための導管投資、主要幹線網形成(5ページ「供給エリア概要図」参照)のための投資、さらに既存導管の計画的入取替や地震防災関連設備投資等によって、安定供給体制の確立ならびに保安の確保に努める

業務設備では、技術開発の推進、情報化関連整備、老朽化対応等による建物建設・改修等を実施し、業務推進体制の一層の強化を図る

附帯事業設備では、LPG出荷設備等の投資以降は主に既存設備の改修に努める

ことを柱として、5年間の総投資額として3,627億円(工事負担金収入圧縮後)の投資を計画しました。

【設備投資計画合表】

(単位：億円)

		04年度見通し	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	05～09年度合計
ガ ス 事 業 設 備	LNG関連設備	0	12	20	16	22	1	71
	その他	24	48	33	38	32	26	177
	製造設備	24	60	53	54	54	27	248
	幹線投資	71	43	45	21	21	5	135
	その他	481	519	508	476	444	441	2,388
	供給設備	552	562	553	497	465	446	2,523
	業務設備	197	296	172	134	116	115	833
	計	773	918	778	685	635	588	3,604
	附帯事業設備	7	19	1	1	1	1	23
	合 計	780	937	779	686	636	589	3,627

合計投資額は工事負担金圧縮後

幹線投資	栃木ライン(05年度完成・総額169億円、内今5ヶ年期間17億円)：中圧含む 中央幹線(09年度完成・総額160億円、内今5ヶ年期間122億円)
------	---

主要計数計画

(1) 普及計画

	04年度見通し	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	備考
新設件数 (千件)	287.5	279.5	275.0	265.0	260.0	257.0	5ヵ年計 1,336.5
お客さま件数(千件)	(2.0%) 9,632.7	(1.8%) 9,804.4	(1.7%) 9,966.2	(1.5%) 10,114.2	(1.3%) 10,248.0	(1.3%) 10,376.9	()内は 対前年伸び率
純増件数 (千件)	187.7	171.7	161.8	148.0	133.8	128.9	5ヵ年計 744.2
普及率 (%)	90.3%	91.0%	91.8%	92.5%	93.0%	93.4%	

普及率は、当社供給区域内お客さま件数÷当社供給区域内一般世帯数で算出

(2) ガス需要見通し

(単位：百万m³，46.04655MJ/m³)

		04年度見通し	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	年平均伸び率
販売量	家庭用	(397) 3,205	(394) 3,238	(392) 3,270	(391) 3,298	(389) 3,326	(387) 3,347	(0.5%) 0.9%
	工業用	4,523	4,533	4,833	4,960	5,191	5,261	3.1%
	商業用他	2,766	2,838	2,900	2,956	3,016	3,078	2.2%
	小計	7,289	7,371	7,733	7,916	8,207	8,339	2.7%
	計	10,494	10,609	11,003	11,214	11,533	11,686	2.2%
卸供給		1,320	1,400	1,454	1,519	1,557	1,590	3.8%
合計		11,814	12,009	12,457	12,733	13,090	13,276	2.4%
(内)発電用途		3,388	3,272	3,473	3,518	3,689	3,683	1.7%
(内)発電用途を除く		8,426	8,737	8,984	9,215	9,401	9,593	2.6%

04年度は標準化後(05年度以降の計画策定上の気温へ補正した値)見通し

()内は、家庭用1件あたり販売量(m³/件・年)

参考

(単位：百万m³，46.04655MJ/m³)

	04年度見通し	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	年平均伸び率
大口供給(業務用の内数)	5,225	5,362	5,671	5,812	6,057	6,140	3.3%

04年度は標準化後(05年度以降の計画策定上の気温へ補正した値)見通し

(3) 空調分野の機種別ストック量

(単位：千kW)

	04年度見通し	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	年平均伸び率
吸収式	2,881	2,933	2,971	3,008	3,047	3,088	1.4%
GHP	881	939	1,026	1,092	1,149	1,206	6.5%
合計	3,762	3,872	3,997	4,100	4,196	4,294	2.7%

ストック量は、当社で管理している冷房設備能力ベース(設備容量)をCOP3.5の電気空調機に換算したもの

(4) 発電用途のストック量

(単位：千kW)

	04年度見通し	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	年平均伸び率
民生用コージェネ	343	355	368	381	394	407	3.5%
産業用コージェネ	855	918	977	1,035	1,094	1,152	6.1%
コージェネレーション計	1,198	1,273	1,345	1,416	1,488	1,559	5.4%
事業用	2,171	2,379	2,379	2,379	2,379	2,379	1.8%
自家用	187	187	187	187	187	187	0.0%
発電専用計	2,358	2,566	2,566	2,566	2,566	2,566	1.7%
合計	3,556	3,839	3,911	3,982	4,054	4,125	3.0%

(5) 2005 年度設備投資計画

(単位：百万円)

項 目		投資額	構成比	備 考
製 造 設 備	新規 LNG 関連設備	1,200	1.3%	・ 扇島工場気化器
	そ の 他	4,861	5.2%	・ 既存設備改修 ・ 更新工事
	計	6,061	6.5%	
供 給 設 管 備	本			
	支			
	需要開発関連	21,343	22.8%	・ 641.9km 需要本支管ほか
	安定供給関連	8,392	8.9%	・ 27.5km 供給圧力改善工事、幹線シールド工事ほか
	導管保安関連	8,508	9.1%	・ 115.7km 老朽管計画入取替
	他工事関連他	2,443	2.6%	・ 81.3km 道路工事等に付随し発生するガス管移設工事等
	小 計	40,686	43.4%	・ 866.4km
供給管・ガスメーター	14,046	15.0%		
そ の 他	1,440	1.5%	・ 地震防災等保安対策設備ほか	
計	56,172	59.9%		
業 務 設 備		29,642	31.6%	・ 技術開発、情報化関連、建物建設・改修ほか
ガス事業設備計 (工事負担金圧縮後)		91,875	98.0%	
附 帯 事 業 設 備		1,870	2.0%	・ L P G 出荷設備・天然ガス自動車関連設備ほか
合 計 (工事負担金圧縮後)		93,745	100.0%	

備考内の延長は施工延長